

財団法人 兵庫県高齢者生きがい創造協会

1 監査の対象

広く県民の理解と参画を得て高齢者自らが積極的に生きがいを創造する活動を支援し、もって高齢者の福祉の増進に寄与することを目的とするこの協会に対し、基本財産73,170,000円のうち19,000,000円を県が出えんし、平成18年度において次のとおり財政的援助等を行っているので、この協会の出納その他の事務について監査を実施した。

区 分	内 容	
補 助 金	兵庫県高齢者生きがい創造協会運営事業補助等	264,476,403円
公の施設の管理	兵庫県老人休養ホーム六甲保養荘管理委託料	43,037,549円

2 監査の結果

(1) 平成18年度決算

収支計算書

支 出 の 部		収 入 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
普及啓発事業費	9,432,000円	基本財産運用収入	536,504円
支部運営事業費	582,000	基金運用収入	5,035,357
調査研究事業費	2,683,000	事業収入	73,949,033
施設管理運営事業費	17,500,023	補助金等収入	322,305,394
奉仕活動支援事業費	2,100,000	負担金収入	100,938,043
総合相談センター運営補助事業費	8,558,835	雑収入	10,214,943
いなみ野学園等運営補助事業費	94,819,824		
いなみ野学園運営事業費	73,697,731		
阪神シニアカレッジ運営事業費	73,269,633		
協会運営費	107,601,534		
長寿社会づくり助成事業費	1,398,370		
交流施設管理運営費	2,665,525		
六甲保養荘健康づくり事業費	2,070,510		
六甲保養荘受託事業費	43,037,549		
六甲保養荘運営事業費	32,440,724		
管 理 費	22,928,323		
当期支出合計	494,785,581	当期収入合計	512,979,274
当期収支差額	18,193,693	前期繰越収支差額	13,800,009
次期繰越収支差額	31,993,702	収入合計	526,779,283

(注) 補助金等収入に県補助金264,476,403円及び県の公の施設の管理委託料43,037,549円を含む。

正味財産増減計算書

減 少 の 部		増 加 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
資 産 減 少 額	99,602,505円	資 産 増 加 額	111,202,993円
当期正味財産増加額	11,600,488		
前期繰越正味財産額	367,955,188		
期末正味財産合計額	379,555,676		

貸借対照表

資 産 の 部		負 債 及 び 正 味 財 産 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流 動 資 産	120,360,333円	流 動 負 債	88,366,631円
固 定 資 産	347,561,974	正 味 財 産	379,555,676
		(うち基本金)	73,170,000
		(うち当期正味財産増加額)	11,600,488
合 計	467,922,307	合 計	467,922,307

(注) 1 収支計算書、正味財産増減計算書及び貸借対照表とも一般会計、ねんりんピック記念基金特別会計、交流施設特別会計及び六甲保養荘特別会計を合算したものである。

2 固定資産から控除した減価償却累計額 105,309,128円

(2) 意 見

経理事務について

期末手当等が、3件、67,580円過大支給となっていた。

事務処理に当たり配慮されたい。

財団法人 兵庫県芸術文化協会

1 監査の対象

芸術文化の創造と交流、調査研究、普及啓発及び学習機会の提供など多様な芸術文化活動を展開することにより、芸術文化の振興を図り、県民文化の向上に寄与するとともに、こころ豊かな人づくりに資することを目的とするこの協会に対し、県が平成18年度において次のとおり財政的援助等を行っているので、これらに係る出納その他の事務について監査を実施した。

区 分	内 容	
補 助 金	芸術文化センター創造・公演事業等	619,173,176円
公の施設の管理	兵庫県立芸術文化センター等指定管理料	1,598,775,647円

(注) 地方自治法第244条の2第8項の規定に基づき、公の施設の指定管理者である当協会が施設の利用に係る料金を収入として収受し、管理経費に充当している。

2 監査の結果

(1) 平成18年度補助対象事業及び公の施設の管理事業の決算

支 出 の 部		収 入 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
事 業 費	3,108,440,601円	事 業 収 入	2,514,636,856円
管 理 費	25,277,299	補 助 金 等 収 入	620,973,176
		特 定 預 金 取 崩 収 入	12,064,042
当 期 収 支 差 額	14,330,258	基 本 財 産 運 用 収 入	374,084
合 計	3,148,048,158	合 計	3,148,048,158

(注) 1 補助金等収入に県補助金619,173,176円を含む。

2 事業収入に県の公の施設の指定管理料1,522,643,475円(消費税及び地方消費税76,132,172円を除く。)及び利用料金350,631,433円(消費税及び地方消費税17,531,397円を除く。)を含む。

(2) 意 見

出納その他の事務は、おおむね適正に執行されているものと認められた。

財団法人 兵庫県職員互助会

1 監査の対象

兵庫県の行政に協力するとともに、兵庫県職員の福利増進等を図る事業を行い、もって兵庫県政の能率的な執行に寄与し、県民の福祉の増進に資することを目的とするこの会の事業のうち、厚生に関する事業について、県が平成18年度において293,957,000円の補助金を交付しているため、これに係る出納その他の事務について監査を実施した。

2 監査の結果

(1) 平成18年度補助対象事業の決算

支 出		収 入	
科 目	金 額	科 目	金 額
事 業 費	483,643,182円	基本財産運用収入	150,000円
管 理 費	15,246,063	会 費 収 入	240,850,688
特 定 預 金 支 出	72,037,800	事 業 収 入	3,058,600
		補 助 金 等 収 入	293,957,000
		負 担 金 収 入	6,627,170
		雑 収 入	15,105,298
		貸付金返済収入	66,535,200
当期収支差額	79,085,670	繰入金収入	23,728,759
合 計	650,012,715	合 計	650,012,715

(注) 共済経理、福利経理及び特定事業経理を合算したものである。

(2) 意 見

出納その他の事務は、おおむね適正に執行されているものと認められた。

日本赤十字社兵庫県支部

1 監査の対象

赤十字に関する諸条約及び赤十字国際会議において議決された諸原則の精神にのっとり、赤十字の理想とする人道的任務を達成することを目的とするこの法人に対し、県が平成18年度において、次のとおり財政的援助等を行っているので、これらに係る出納その他の事務について監査を実施した。

区 分	内 容	
補 助 金	血液センター施設整備費補助事業	40,032,000円
公の施設の管理	兵庫県災害医療センター指定管理料	1,939,266,372円

2 監査の結果

(1) 平成18年度補助対象事業及び公の施設の管理事業の決算

支 出 の 部		収 入 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
事 業 費	40,032,000円	補 助 金 等 収 入	1,979,298,372円
管 理 事 業 費	1,939,266,372		
合 計	1,979,298,372	合 計	1,979,298,372

(注) 補助金等収入は、県補助金40,032,000円及び県の公の施設の指定管理料1,939,266,372円である。

(2) 意 見

出納その他の事務は、おおむね適正に執行されているものと認められた。

社会福祉法人 兵庫県社会福祉協議会

1 監査の対象

兵庫県における社会福祉事業その他の社会福祉を目的とする事業の健全な発達及び社会福祉に関する活動の活性化により、地域福祉の推進を図ることを目的とするこの協議会に対し、県が平成18年度において次のとおり財政的援助等を行っているので、これらに係る出納その他の事務について監査を実施した。

区 分		内 容	
補 助 金		社会福祉事業費等	408,498,460円
貸 付 金	長 期	生活福祉資金特別貸付（小口資金貸付）	4,721,885,871円
		事業資金等	(決算時残高)
		生活復旧資金貸付事業資金	19,914,460円
	単年度	NPOコミュニティビジネス等活動応援貸付事業資金	5,022,406円
公の施設の管理		兵庫県社会福祉研修所等指定管理料	58,818,000円

(注) 地方自治法第244条の2第8項の規定に基づき、公の施設の指定管理者である当法人が施設の利用に係る料金を収入として收受し、管理経費に充当している。

2 監査の結果

(1) 平成18年度補助対象事業、貸付対象事業及び公の施設の管理事業の決算

一般会計・公益事業特別会計事業収支計算書

支 出		収 入	
科 目	金 額	科 目	金 額
人 件 費	374,493,070円	会 費	36,575,400円
事 務 費	95,806,495	寄 附 金	1,860,305
事 業 費	443,099,085	分 担 金	800,000
分 担 金	1,658,580	経 常 経 費 補 助 金	356,971,000
助 成 金	24,558,540	助 成 金	6,254,550
負 担 金	131,200	受 託 金	118,800,295
減 価 償 却 費	3,517,943	事 業 収 入	373,602,559
そ の 他 の 支 出	100,817,403	共 同 募 金 配 分 金	13,000,000
積 立 金 積 立	35,068,500	負 担 金	50,138,506
次期繰越活動収支差額	316,049,251	受 取 利 息 配 当 金	14,941,918
		そ の 他 の 収 入	127,314,200
		積 立 金 取 崩	1,055,000
		前 期 繰 越 活 動 収 支 差 額	293,886,334
合 計	1,395,200,067	合 計	1,395,200,067

(注) 1 一般会計及び公益事業特別会計(社会福祉事業従事者研修事業、兵庫県福祉センター運営事業並びに県民ボランティア活動支援事業のうち補助対象事業及び貸付対象事業に係るもの)を合算したものである。

2 経常経費補助金に県補助金354,421,000円を含む。

3 受託金に県の公の施設の指定管理料58,818,000円を含む。

4 事業収入に県の公の施設の利用料金16,690,152円を含む。

その他特別会計収支計算書

支 出		収 入	
科 目	金 額	科 目	金 額
人 件 費	41,471,264円	県 補 助 金	54,077,460円
事 務 費	19,628,154	償 還 金	288,122,086
事 業 費	39,584,221	貸 付 金 利 子	26,979,318
貸 付 金	342,520,925	他 会 計 借 入 金	146,612,000
積 立 金	3,473,550	積 立 金 戻 入	5,904,338
県 返 還 金	124,613,818	雑 収 入	22,846,282
他 会 計 貸 付 金	146,612,000	繰 入 金	46,692,510
投資有価証券取得	3,000,000,000	前 年 度 繰 越 金	4,026,103,475
繰 出 金	48,319,110		
翌 年 度 繰 越 金	851,114,427		
合 計	4,617,337,469	合 計	4,617,337,469

(注) 生活福祉資金会計、生活福祉資金(災害)会計、生活復旧資金会計、生活福祉資金(離職者支援資金)会計及び生活福祉資金貸付事務費会計を合算したものである。

(2) 意 見

収入の促進について

平成18年度末現在における生活福祉資金貸付金償還金等の収入未済額は、5,262,024,756円である。

収入の促進に配意されたい。

社会福祉法人 兵庫県社会福祉事業団

1 監査の対象

県と一体となって本県の社会福祉事業の推進を図り、もって県民福祉の向上と増進に寄与することを目的とするこの事業団に対し、基本財産11,000,000円のうち10,500,000円を県が出えんし、平成18年度において次のとおり財政的援助等を行っているので、この事業団の出納その他の事務について監査を実施した。

区 分	内 容	
補 助 金	兵庫県社会福祉事業団運営事業等	734,948,524円
貸付金	単年度 兵庫県社会福祉事業団運営資金	1,200,000,000円
公の施設の管理	兵庫県立総合リハビリテーションセンター等指定管理料	4,975,848,728円

(注) 中央病院及び西播磨病院については、地方自治法第244条の2第8項の規定に基づき、公の施設の指定管理者である当事業団が施設の利用に係る料金を収入として収受し、管理経費に充当している。

2 監査の結果

(1) 平成18年度決算

事業活動収支計算書

支 出 の 部		収 入 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
事業活動支出	13,062,043,831円	事業活動収入	13,151,478,832円
授産事業活動支出	179,206,030	授産事業活動収入	185,296,365
事業活動外支出	1,534,988,453	事業活動外収入	1,542,149,043
特 別 支 出	91,514,937	特 別 収 入	356,689,229
その他の積立金積立額	197,891,000	その他の積立金取崩額	381,000,000
次期繰越活動収支差額	1,300,451,657	前期繰越活動収支差額	749,482,439
合 計	16,366,095,908	合 計	16,366,095,908

(注) 事業活動収入に県補助金734,948,524円、県の公の施設の指定管理料4,975,848,728円及び県の公の施設の利用料金4,237,361,600円を含む。

貸借対照表

資 産 の 部		負 債 及 び 純 資 産 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流 動 資 産	4,056,395,098円	流 動 負 債	3,283,518,330円
固 定 資 産	7,828,184,607	固 定 負 債	1,024,307,748
		基 本 金	11,000,000
		国庫補助金等特別積立金	5,282,970,229
		そ の 他 の 積 立 金	982,331,741
		次期繰越活動収支差額	1,300,451,657
		(うち当期活動収支差額)	(367,860,218)
合 計	11,884,579,705	合 計	11,884,579,705

(注)1 事業活動収支計算書及び貸借対照表とも一般会計及び特別会計(職員退職年金共済事業、職員等海外研修基金及び施設整備事業等)を合算したものである。

2 固定資産から控除した減価償却累計額 2,588,863,492円

(2) 意 見

ア 未収金について

平成18年度末現在における未収金(現年度の診療報酬等を除く。)は、184件、3,575,337円である。

収入の促進に配慮されたい。

イ 経理事務について

建物で執行すべき倉庫等の設置に係る経費、2件、1,241,116円が修繕費で執行されていた。

事務処理に当たり配慮されたい。

ウ 契約事務について

廃棄物運搬処理委託等に係る契約で、契約保証金の徴収等をしていない契約が、4件(契約総額13,537,434円)あった。

事務処理に当たり配慮されたい。

財団法人 兵庫県環境クリエイトセンター

1 監査の対象

廃棄物等の適正で広域的かつ効率的な減量、再生及び処分、廃棄物に関する調査研究等を行うことにより、公害の防止に資するとともに、県民の生活環境の保全及び公衆衛生の向上に寄与することを目的とするこの法人に対し、基本財産400,000,000円のうち100,000,000円を県が出えんし、平成18年度において兵庫県COEプログラム推進事業について7,950,000円の補助金を交付しているので、この法人の出納その他の事務について監査を実施した。

2 監査の結果

(1) 平成18年度決算

収支計算書

支 出 の 部		収 入 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
廃家電回収情報調整受託事業費	3,096,450円	基本財産運用収入	7,200,000円
廃棄物処分事業費	276,310,235	事業収入	560,293,088
溶融処理事業費	68,637,473	委託金収入	5,898,275
新規溶融処理事業費	2,702,049	負担金収入	1,904,762
廃棄物行政に係る市町支援事業費	597,786	補助金収入	19,527,580
但馬最終処分場廃棄物処理事業費	105,072,892	雑収入	23,029,891
研究啓発事業費	29,772,333	固定資産売却収入	1,617,165,910
管 理 費	126,950,721	借入金収入	44,997,382
固定資産取得支出	134,020,861	特定預金取崩収入	22,200,000
特定預金支出	217,922,960		
拠出金支出	1,300,000,000		
その他支出	50,000,000		
当期支出合計	2,315,083,760	当期収入合計	2,302,216,888
当期収支差額	△ 12,866,872	前期繰越収支差額	268,928,935
次期繰越収支差額	256,062,063	収入合計	2,571,145,823

(注) 補助金収入に県補助金7,950,000円を含む。

正味財産増減計算書

減 少 の 部		増 加 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
資 産 減 少 額	22,768,441,239円	資 産 増 加 額	629,605,111円
負 債 増 加 額	45,754,432	負 債 減 少 額	20,806,422,397
合 計	22,814,195,671	合 計	21,436,027,508
当期正味財産減少額	1,378,168,163		
前期繰越正味財産額	4,828,192,984		
期末正味財産合計額	3,450,024,821		

貸借対照表

資 産 の 部		負 債 及 び 正 味 財 産 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流 動 資 産	328,107,197円	流 動 負 債	72,045,134円
固 定 資 産	3,788,002,669	固 定 負 債	618,292,117
繰 延 資 産	24,252,206	正 味 財 産	3,450,024,821
		(うち基本金)	(400,000,000)
		(うち当期正味財産減少額)	(1,378,168,163)
合 計	4,140,362,072	合 計	4,140,362,072

(注)1 収支計算書、正味財産増減計算書及び貸借対照表とも基金土地会計、廃棄物処理施設事業会計、フェニックス受託事業会計及び処分場事業会計を合算したものである。

2 固定資産から控除した減価償却累計額462,787,292円

(2) 意 見

出納その他の事務は、おおむね適正に執行されているものと認められた。

財団法人 ひょうご産業活性化センター

1 監査の対象

中小企業の経営の革新及び創業の促進、経営基盤の強化等のための諸事業並びに地域経済の活性化に関する事業を行い、もって兵庫県の産業経済の発展を図ることを目的とするこの法人に対し、基本財産183,000,000円のうち80,000,000円を県が出えんし、平成18年度において次のとおり財政的援助を行っているので、この法人の出納その他の事務について監査を実施した。

区 分	内 容	金額
補 助 金	中小企業支援センター事業等	550,484,799円
貸 付 金	長 期 小規模企業者等設備貸与事業資金等 (決算時残高)	7,261,725,000円
	単年度 先進機器・省エネルギー等設備貸与事業資金等	6,045,352,000円
損 失 補 償	小規模企業者等設備貸与事業等 (限度額)	3,295,329,800円

2 監査の結果

(1) 平成18年度決算

正味財産増減計算書

区 分	科 目	金 額
一 般 正 味 財 産 増 減 の 部	経 常 収 益 ①	3,310,970,099円
	経 常 費 用 ②	3,159,567,393
	当 期 経 常 増 減 額 ③(①-②)	151,402,706
	経 常 外 収 益 ④	1,609,188,138
	経 常 外 費 用 ⑤	1,468,481,321
	当 期 経 常 外 増 減 額 ⑥(④-⑤)	140,706,817
	当 期 一 般 正 味 財 産 増 減 額 ⑦(③+⑥)	292,109,523
	一 般 正 味 財 産 期 首 残 高 ⑧	124,358,982
	一 般 正 味 財 産 期 末 残 高 ⑨(⑦+⑧)	416,468,505
指 定 正 味 財 産 増 減 の 部	当 期 指 定 正 味 財 産 増 減 額 ⑩	44,040,537
	指 定 正 味 財 産 期 首 残 高 ⑪	182,130,000
	指 定 正 味 財 産 期 末 残 高 ⑫(⑩+⑪)	226,170,537
正 味 財 産 期 末 残 高 ⑬(⑨+⑫)	642,639,042	

貸借対照表

資 産 の 部		負 債 及 び 正 味 財 産 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流 動 資 産	15,872,924,975円	流 動 負 債	9,741,486,796円
固 定 資 産	12,230,308,662	固 定 負 債	17,719,107,799
		指 定 正 味 財 産	226,170,537
		(うち当期指定正味財産増減額)	(44,040,537)
		一 般 正 味 財 産	416,468,505
		(うち当期一般正味財産増減額)	(292,109,523)
合 計	28,103,233,637	合 計	28,103,233,637

(注) 1 正味財産増減計算書及び貸借対照表とも一般会計及び特別会計【新産業創造キャピタル事業（高度化資金・一般支援・復興基金）、小規模企業者等設備貸与事業、先進機器・省エネルギー等設備貸与事業、最新規制適合車等代替促進特別貸与事業、ベンチャーリース事業、産業情報提供事業、公益事業資金供給事業】を合算したものである。

2 固定資産から控除した減価償却累計額 2,194,438,035円

(2) 意 見

収入の促進について

平成18年度末現在における割賦設備償還金等の収入未済額は、118件、698,940,050円である。

収入の促進に配意されたい。

財団法人 兵庫県勤労福祉協会

1 監査の対象

中小企業に従事する労働者の健康を増進し、余暇の善用を図るため、共同利用施設を設置するとともに、中小企業における労働生産性の向上に寄与することを目的とするこの協会に対し、基本財産15,000,000円のうち10,000,000円を県が出えんし、平成18年度において次のとおり財政的援助等を行っているので、この協会の出納その他の事務について監査を実施した。

区 分	内 容	金 額
補 助 金	勤労福祉協会運営事業	11,596,999円
貸 付 金	単年度 勤労福祉協会運営事業資金等	1,028,430,000円
公の施設の管理	兵庫県中央労働センター等指定管理料	315,480,997円

(注) 地方自治法第244条の2第8項の規定に基づき、公の施設の指定管理者である当協会が施設の利用に係る料金を収入として収受し、管理経費に充当している。

2 監査の結果

(1) 平成18年度決算

正味財産増減計算書

区 分	科 目	金 額
一般正味財産 増減の部	経 常 収 益 ①	1,815,171,219円
	経 常 費 用 ②	1,778,823,448
	当期経常増減額 ③(①-②)	36,347,771
	経 常 外 費 用 ④	8,942,335
	当期経常外増減額 ⑤(④)	△ 8,942,335
	当期一般正味財産増減額 ⑥(③+⑤)	27,405,436
	一般正味財産期首残高 ⑦	43,219,201
	一般正味財産期末残高 ⑧(⑥+⑦)	70,624,637
指定正味財産 増減の部	指定正味財産期首残高 ⑨	577,778,505
	指定正味財産期末残高 ⑩(⑨)	577,778,505
正味財産期末残高 ⑧+⑩		648,403,142

(注) 経常収益に県補助金11,596,999円、県の公の施設の指定管理料300,458,102円(消費税及び地方消費税15,022,895円を除く。)及び利用料金51,255,138円(消費税及び地方消費税2,562,732円を除く。)を含む。

貸借対照表

資 産 の 部		負債及び正味財産の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流 動 資 産	1,454,464,301円	流 動 負 債	1,391,237,878円
固 定 資 産	1,037,017,118	固 定 負 債	451,840,399
		指 定 正 味 財 産	577,778,505
		一 般 正 味 財 産	70,624,637
		(うち当期一般正味財産増減額)	(27,405,436)
合 計	2,491,481,419	合 計	2,491,481,419

(注) 1 正味財産増減計算書及び貸借対照表とも一般会計、事業特別会計、憩の宿事業特別会計、受託事業特別会計、共済事業特別会計及び勤労者福祉融資事業特別会計を合算したものである。

2 固定資産から控除した減価償却累計額 102,314,149円

(2) 意 見

不正事件について

当協会において、協会資金の着服事件が発生したことは、極めて遺憾である。

不正防止のためのチェック機能の強化等、再発防止に向けた適切な改善方策を講じられたい。

社団法人 兵庫みどり公社

1 監査の対象

農地保有の合理化、農業後継者の育成、その他農業構造の改善を促進し、農業の振興と調和ある県土の発展に寄与するとともに、森林整備事業、緑化事業及び人と森林とのふれあい事業を推進し、森林の有する多面的機能の維持・増進、都市等における景観の創造及び県民の福祉の向上に寄与することを目的とするこの公社に対し、県が平成18年度において次のとおり財政的援助等を行っているので、これらに係る出納その他の事務について監査を実施した。

区 分		内 容	
補 助 金		造林事業等	1,191,644,120円
貸 付 金	長 期	造林事業資金等（決算時残高）	2,129,287,000円
	単年度	造林事業資金等	17,321,728,000円
損 失 補 償		造林資金借入金等（決算時残高）	43,082,504,808円
公の施設の管理		兵庫県立三木山森林公園等指定管理料	193,306,000円

(注) 地方自治法第244条の2第8項の規定に基づき、県の公の施設の指定管理者である当法人が施設の利用に係る料金を収入として收受し、管理経費に充当している。

2 監査の結果

(1) 平成18年度補助対象事業、貸付対象事業及び公の施設の管理事業等の決算

支 出 の 部		収 入 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
農地保有合理化推進事業費支出	218,579,761円	基本財産運用収入	9,682,629円
農業農村活性化推進事業費支出	949,537,159	特定資産運用収入	7,892,492
農業後継者育成事業費支出	16,910,897	諸事業収入	686,836,872
氷上農工団地事業費支出	8,126,590	受託事業収入	2,570,725,242
造林事業費支出	1,367,726,476	補助金等収入	991,306,767
諸事業費支出	7,118,996	分収育林収入	251,195
受託事業費支出	236,933,713	緑化基金収入	447,001,291
緑化事業費支出	1,940,318,612	雑収入	99,114,939
研究所事業費支出	24,740,000	貸付金償還収入	16,965,000
県営分収育林事業費支出	48,914,857	特定資産取崩収入	3,108,337,990
管理費支出	584,839,919	固定資産売却収入	29,655,930
貸付金支出	13,150,000	敷金・保証金戻り収入	17,865,698
特定資産取得支出	1,086,675,640	借入金収入	19,295,523,285
固定資産取得支出	16,671,484		
敷金・保証金支出	1,500,000		
県債管理基金等支出	2,100,000,000		
借入金返済支出	18,542,009,224		
当期支出合計	27,163,753,328	当期収入合計	27,281,159,330
当期収支差額	117,406,002	前期繰越収支差額	585,227,769
次期繰越収支差額	702,633,771	収入合計	27,866,387,099

- (注) 1 農村活性化事業会計、造林事業会計、県営分収育林事業会計及び緑化・森林ふれあい事業会計を合算したものである。
 2 補助金等収入及び緑化基金収入に県補助金1,170,807,206円(消費税及び地方消費税20,836,914円を除く。)を含む。
 3 受託事業収入に県の公の施設の指定管理料184,100,954円(消費税及び地方消費税9,205,046円を除く。)を含む。
 4 諸事業収入に及び県の公の施設の利用料金36,593,066円(消費税及び地方消費税1,829,605円を除く。)を含む。

(2) 意 見

出納その他の事務は、おおむね適正に執行されているものと認められた。

兵庫県漁業信用基金協会

1 監査の対象

金融機関の中小漁業者等に対する貸付け等についてその債務を保証し、もって中小漁業者等が必要とする資金の融通を円滑にし、中小漁業の振興を図ることを目的とするこの協会に対し、出資金1,207,750,000円のうち516,800,000円を県が出資しているため、この協会の出納その他の事務について監査を実施した。

2 監査の結果

(1) 平成18年度決算

損益計算書

費用の部		収益の部	
科目	金額	科目	金額
直接事業費	21,588,525円	事業収入	65,201,213円
事業管理費	47,803,813	その他収入	123,220,404
その他費用	116,378,384		
当期利益金	2,650,895		
合計	188,421,617	合計	188,421,617

貸借対照表

資 産		負 債 ・ 資 本	
科目	金額	科目	金額
流動資産	20,623,436,566円	流動負債	18,903,164,183円
固定資産	19,050,054	固定負債	148,642,584
		資 本	1,590,679,853
		(出資金)	(1,207,750,000)
		(交付金)	(16,953,000)
		(繰入金)	(136,308,000)
		(準備金)	(227,017,958)
		(当期利益金)	(2,650,895)
合計	20,642,486,620	合計	20,642,486,620

(注) 固定資産から控除した減価償却累計額 1,946,296円

(2) 意見

求償権の回収について

平成18年度末現在における求償権残高は、18件、176,348,307円である。

求償権の回収に配慮されたい。

財団法人 兵庫県まちづくり技術センター

1 監査の対象

兵庫県及び県内の市町の建設技術の向上と公共事業の効率的な推進を図るとともに、土地区画整理事業、住民の参画と協働によるまちづくり活動等を支援することにより、より質の高い社会基盤づくり及びまちづくりに寄与することを目的とするこの法人に対し、基本財産402,000,000円のうち200,000,000円を県が出えんし、平成18年度においてまちづくり支援事業について27,575,000円の補助金を交付しているため、この法人の出納その他の事務について監査を実施した。

2 監査の結果

(1) 平成18年度決算

正味財産増減計算書

区 分	科 目	金 額
一般正味財産 増減の部	経 常 収 益 ①	2,976,969,899円
	経 常 費 用 ②	2,790,169,497
	当期経常増減額 ③(①-②)	186,800,402
	経 常 外 費 用 ④	439,263
	当期経常外増減額 ⑤(④)	△439,263
	当期一般正味財産増減額 ⑥(③+⑤)	186,361,139
	一般正味財産期首残高 ⑦	1,659,215,781
	一般正味財産期末残高 ⑧(⑦+⑥)	1,845,576,920
指定正味財産 増減の部	当期指定正味財産増減額 ⑨	△865,500,000
	指定正味財産期首残高 ⑩	1,446,600,000
	指定正味財産期末残高 ⑪(⑩+⑨)	581,100,000
正 味 財 産 期 末 残 高 ⑧+⑪		2,426,676,920

貸借対照表

資 産 の 部		負 債 及 び 正 味 財 産 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流 動 資 産	1,531,774,998円	流 動 負 債	951,509,047円
固 定 資 産	2,117,587,473	固 定 負 債	271,176,504
		指 定 正 味 財 産	581,100,000
		(うち当期指定正味財産増減額)	(△865,500,000)
		一 般 正 味 財 産	1,845,576,920
		(うち当期一般正味財産増減額)	(186,361,139)
合 計	3,649,362,471	合 計	3,649,362,471

(注) 1 正味財産増減計算書及び貸借対照表とも一般会計、基金特別会計及びまちづくりセンター特別会計を合算したものである。

2 固定資産から控除した減価償却累計額 18,160,506円

(2) 意 見

出納その他の事務は、おおむね適正に執行されているものと認められた。

兵庫県土地開発公社

1 監査の対象

公共用地、公用地等の取得、管理、処分等を行うことにより、地域の秩序ある整備と県民福祉の増進に寄与することを目的とするこの公社に対し、基本財産105,000,000円を県が出資し、平成18年度において次のとおり財政的援助等を行っているので、この公社の出納その他の事務について監査を実施した。

区 分		内 容	
貸付金	長期	事業資金(決算時残高)	4,287,197,522円
	単年度	事業資金	10,600,000,000円
債務保証		債務保証額(決算時残高)	115,879,000,000円
利子補給		先行取得用地取得資金利子補給金	706,989,648円

2 監査の結果

(1) 平成18年度決算

損益計算書

費用の部		収益の部	
科目	金額	科目	金額
事業原価	22,814,807,284円	事業収益	23,387,267,225円
販売費及び一般管理費	288,421,302	事業外収益	6,646,120
事業外費用	11,150	特別利益	94,662,719
当期純利益	385,336,328		
合計	23,488,576,064	合計	23,488,576,064

貸借対照表

資産の部		負債・資本の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	125,084,931,277円	流動負債	1,009,288,352円
固定資産	8,265,332,034	固定負債	124,541,342,576
		資本金	105,000,000
		準備金	7,694,632,383
		(うち当期純利益)	(385,336,328)
合計	133,350,263,311	合計	133,350,263,311

(注) 1 固定資産から控除した減価償却累計額 94,300,436円

2 県からの利子補給 706,989,648円は、公有地取得事業に係る資金調達経費(支払利息等)に充当しており、流動資産中の公有用地が利子補給相当額減額されている。

(2) 意見

出納その他の事務は、おおむね適正に執行されているものと認められた。

兵庫県道路公社

1 監査の対象

兵庫県の区域及びその周辺の地域において、その通行又は利用について料金を徴収することができる道路の新設、改築、維持、修繕その他の管理を総合的かつ効率的に行うこと等により、この地域の地方的な幹線道路の整備を促進して交通の円滑化を図り、もって住民の福祉の増進と産業経済の発展に寄与することを目的とするこの公社に対し、基本財産55,561,000,000円(当年度増加額75,000,000円)を県が出資し、平成18年度において次のとおり財政的援助等を行っているため、この公社の出納その他の事務について監査を実施した。

区 分	内 容
貸付金 単年度	建設事業資金等 16,148,250,000円
債務保証	債務保証額(決算時残高) 58,243,250,249円

2 監査の結果

(1) 平成18年度決算

損益計算書

費用の部		収益の部	
科目	金額	科目	金額
業務管理費	4,697,366,197円	業務収益	7,272,176,522円
諸減価償却費	1,307,455,362	受託業務収益	126,403,968
諸引当損	819,422,216	業務外収益	175,812,839
受託業務費	126,267,941	特別利益	7,890,000
一般管理費	151,330,720		
業務外費用	460,042,829		
特別損失	399,951		
当期利益	19,998,113		
合計	7,582,283,329	合計	7,582,283,329

(注) 諸減価償却費に償還準備金繰入額 1,271,781,733円を含む。

貸借対照表

資 産 の 部		負 債 及 び 資 本 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流 動 資 産	1,978,789,540円	流 動 負 債	16,919,650,653円
固 定 資 産	217,725,172,494	固 定 負 債	59,594,972,855
		特別法上の引当金等	87,364,430,553
		基 本 金	55,561,000,000
		剰 余 金	263,907,973
		(準 備 金)	(243,909,860)
		(当 期 利 益)	(19,998,113)
合 計	219,703,962,034	合 計	219,703,962,034

(注) 1 固定資産から控除した減価償却累計額 627,266,352円

2 特別法上の引当金等に償還準備金 68,261,103,150円を含む。

(2) 意 見

出納その他の事務は、おおむね適正に執行されているものと認められた。

財団法人 兵庫県園芸・公園協会

1 監査の対象

兵庫県の管理する都市公園及び兵庫県立フラワーセンターの健全な利用を図るとともに、花と緑を育てる技術及び公園緑地に対する愛護精神の啓蒙普及を促進することにより、花と公園緑地事業の振興及び明るく潤いのある社会の創造に寄与することを目的とするこの協会に対し、県が平成18年度において次のとおり財政的援助等を行っているので、これに係る出納その他の事務について監査を実施した。

区 分	内 容	
補 助 金	兵庫県園芸・公園協会運営事業	66,718,000円
損 失 補 償	赤穂海浜公園施設建設資金借入金(決算時残高)	4,599,000円
公の施設の管理	明石公園等指定管理料	1,438,148,650円

(注) 地方自治法第244条の2第8項の規定に基づき、公の施設の指定管理者である当協会が施設の利用に係る料金を収入として収受し、管理経費に充当している。

2 監査の結果

(1) 平成18年度補助対象事業、貸付対象事業及び公の施設の管理事業の決算

支 出 の 部		収 入 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
公園施設維持管理等	円		円
受託事業費	1,710,910,329	事業収入	1,771,272,634
管理費	74,314,931	補助金等収入	66,718,000
事業費	2,205,831	雑収入	128,785
特定預金支出	47,582,540		
借入金返済支出	3,066,000		
当期支出合計	1,838,079,631	当期収入合計	1,838,119,419
当期収支差額	39,788	前期繰越収支差額	0
次期繰越収支差額	39,788	収入合計	1,838,119,419

(注) 事業収入に県の公の施設の指定管理料1,438,148,650円及び県の公の施設の利用料金328,587,733円を含む。また、補助金等収入66,718,000円は県補助金である。

(2) 意 見

出納その他の事務は、おおむね適正に執行されているものと認められた。

兵庫県住宅供給公社

1 監査の対象

住宅を必要とする勤労者に対し、住宅の積立分譲等の方法により居住環境の良好な集団住宅及びその用に供する宅地を供給し、もって住民の生活の安定と社会福祉の増進に寄与することを目的とするこの公社に対し、資本金15,000,000円のうち8,000,000円を県が出資し、平成18年度において次のとおり財政的援助等を行っているので、この公社の出納その他の事務について監査を実施した。

区 分	内 容	金 額
補 助 金	ひょうご県民住宅利子補給補助金等	513,279,098円
貸 付 金	長期 公社長期特別貸付金等 (決算時残高)	500,000,000円
	単年度 兵庫県住宅供給公社事業資金	13,000,000,000円
損 失 補 償	兵庫県住宅供給公社事業資金借入金 (決算時残高)	74,368,750,200円
公の施設の管理	県営住宅指定管理料	3,716,137,950円

2 監査の結果

(1) 平成18年度決算
損益計算書

区 分	金 額
事 業 収 益 ①	36,262,348,263円
事 業 原 価 ②	34,553,891,440
一 般 管 理 費 ③	339,390,333
事 業 利 益 ④ (①-②-③)	1,369,066,490
そ の 他 経 常 収 益 ⑤	16,661,873
そ の 他 経 常 費 用 ⑥	245,964,163
経 常 利 益 ⑦ (④+⑤-⑥)	1,139,764,200
特 別 利 益 ⑧	2,041,784
特 別 損 失 ⑨	433,799,839
当 期 利 益 (⑦+⑧-⑨)	708,006,145

(注) 事業収益に県補助金 513,279,098円、県の公の施設の指定管理料 3,539,179,000円 (消費税及び地方消費税 176,958,950円を除く。)を含む。

貸借対照表

資 産 の 部		負 債 ・ 資 本 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流 動 資 産	20,323,136,323円	流 動 負 債	84,600,748,258円
固 定 資 産	123,296,583,534	固 定 負 債	54,468,928,623
		資 本 金	15,000,000
		剰 余 金	4,535,042,976
		(うち当期利益)	(708,006,145)
合 計	143,619,719,857	合 計	143,619,719,857

(注) 1 損益計算書及び貸借対照表とも一般会計及び受託会計を合算したものである。

2 固定資産から控除した減価償却累計額 11,014,593,188円

(2) 意 見

ア 収入の促進について

- (7) 平成18年度末現在における公社住宅に係る家賃及び割賦金(分譲住宅入居者償還金、共益費)の収入未済額は、497,495,462円で、うち6か月分以上の滞納者は、360人で、その総額は、377,212,189円である。
- (4) 平成18年度末現在における賃貸住宅の団地等に設置した駐車場に係る使用料等の収入未済額は、88,560,439円で、うち6か月分以上の滞納者は、442人で、その総額は、55,037,094円である。
- (9) 平成18年度末現在における退去跡補修費等の公社立替払経費の収入未済額は、125,015,729円で、うち過年度分の滞納者は、761人で、その総額は、111,316,963円である。
- (エ) 平成18年度末現在における分譲住宅の延払割賦金の収入未済額は、1件、2,020,000円である。
- 収入の促進に配慮されたい。

イ 県から委託を受けた県営住宅使用料等の収納の促進について

平成18年度(19年5月末現在)における県営住宅使用料等の収入未済額は、1,125,036,389円で、うち6か月分以上の滞納者は、2,258人で、その総額は、903,899,691円である。

収納の促進に配慮されたい。

ウ 経理事務について

勤勉手当等が、3件、30,742円過大支給、3件、76,650円過少支給となっていた。

事務処理に当たり配慮されたい。

財団法人 阪神・淡路大震災復興基金

1 監査の対象

阪神・淡路大震災からの早期復興のための各般の取組みを補完し、被災者の救済及び自立支援並びに被災地域の総合的な復興対策を長期・安定的、機動的に進め、災害により疲弊した被災地域を魅力ある地域に再生させることを目的とするこの法人に対し、基本財産100,000,000円のうち67,000,000円を県が出えんしているため、この法人の出納その他の事務について監査を実施した。

2 監査の結果

(1) 平成18年度決算

正味財産増減計算書

区 分	科 目	金 額
一般正味財産 増減の部	経常収益 ㉑	129,411,789円
	経常費用 ㉒	2,403,416,479
	当期経常増減額 ㉓(㉑-㉒)	△2,274,004,690
	経常外費用 ㉔	6,000,000,000
	当期経常外増減額 ㉕	△6,000,000,000
	当期一般正味財産増減額 ㉖(㉓+㉕)	△8,274,004,690
	一般正味財産期首残高 ㉗	13,274,364,096
	一般正味財産期末残高 ㉘(㉖+㉗)	5,000,359,406
指定正味財産 増減の部	指定正味財産期首残高 ㉙	100,000,000
	指定正味財産期末残高 ㉚	100,000,000
正味財産期末残高 ㉛+㉚		5,100,359,406

貸借対照表

資 産 の 部		負債及び正味財産の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流動資産	356,492,158円	流動負債	356,492,158円
固定資産	5,100,359,406	指定正味財産	100,000,000
		一般正味財産	5,000,359,406
		(うち一般正味財産増減額)	△8,274,004,690
合 計	5,456,851,564	合 計	5,456,851,564

(注) 正味財産増減計算書及び貸借対照表とも一般会計の決算である。

(2) 意 見

収入の促進について

平成18年度末現在における民間賃貸住宅家賃負担軽減事業補助等の過払による未収金(貸倒引当金計上額を除く。)は、117件、2,652,783円である。

収入の促進に配慮されたい。

財団法人 兵庫県住宅再建共済基金

1 監査の対象

住宅所有者が相互扶助の精神に基づき拠出する負担金により住宅の再建等を支援する兵庫県住宅再建共済制度を運営し、自然災害への備えとしての仕組みとするとともに、自然災害発生時には、被災者の生活基盤の早期回復を促し、被災地域の早期再生及び活性化に寄与することを目的とするこの法人に対し、基本財産100,000,000円を県が出えんしているため、この法人の出納その他の事務について監査を実施した。

2 監査の結果

(1) 平成18年度決算

正味財産増減計算書

区 分	科 目	金 額
一般正味財産 増減の部	経 常 収 益 ①	610,779,682円
	経 常 費 用 ②	174,809,649
	当 期 経 常 増 減 額 ③(①-②)	435,970,033
	当 期 一 般 正 味 財 産 増 減 額 ④(③)	435,970,033
	一 般 正 味 財 産 期 首 残 高 ⑤	169,858,951
	一 般 正 味 財 産 期 末 残 高 ⑥(④+⑤)	605,828,984
指定正味財産 増減の部	指 定 正 味 財 産 期 首 残 高 ⑦	100,000,000
	指 定 正 味 財 産 期 末 残 高 ⑧(⑦)	100,000,000
正 味 財 産 期 末 残 高 ⑥+⑧		705,828,984

貸借対照表

資 産 の 部		負 債 及 び 正 味 財 産 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流 動 資 産	164,545,509円	流 動 負 債	162,682,226円
固 定 資 産	703,965,701	指 定 正 味 財 産	100,000,000
		一 般 正 味 財 産	605,828,984
		(うち当期一般正味財産増減額)	(435,970,033)
合 計	868,511,210	合 計	868,511,210

(注)1 正味財産増減計算書及び貸借対照表とも一般会計及び給付金基金特別会計を合算したものである。

2 固定資産から控除した減価償却累計額 3,474,800円

(2) 意 見

出納その他の事務は、おおむね適正に執行されているものと認められた。

財団法人 兵庫県学校厚生会

1 監査の対象

教育関係者の文化・福祉の向上と生活の安定を図るとともに、教職員の相互共済及び福利を増進することによって、兵庫県教育の振興発展に寄与することを目的とするこの会の事業のうち、厚生に関する事業について、県が平成18年度において907,598,000円の補助金を交付しているのので、これに係る出納その他の事務について監査を実施した。

2 監査の結果

(1) 平成18年度補助対象事業の決算

支 出		収 入	
科 目	金 額	科 目	金 額
共 済 給 付 金	475,604,867円	県 補 助 金 収 入	907,598,000円
福 祉 給 付 金	232,788,401	繰 入 金 収 入	902,919,164
そ の 他 給 付 金	3,690,000		
本 部 福 祉 事 業 費	110,545,941		
支 部 福 祉 事 業 費	17,330,243		
生 涯 福 祉 事 業 費	4,945,800		
相 談 事 業 費	73,480,176		
事 業 直 接 費	340,498,247		
人 件 費	144,200,941		
支 部 人 件 費	344,273,657		
管 理 運 営 費	63,158,891		
当 期 支 出 合 計	1,810,517,164	当 期 収 入 合 計	1,810,517,164

(2) 意 見

出納その他の事務は、おおむね適正に執行されているものと認められた。

財団法人 兵庫県体育協会

1 監査の対象

県民の体力の向上、児童・生徒の健全な発育及びスポーツ精神の高揚を図り、もってスポーツの振興、健康の増進、文化の高揚及び福祉の増進に寄与することを目的とするこの協会に対し、基本財産563,079,000円のうち366,080,000円を県が出えんし、平成18年度において次のとおり財政的援助等を行っているため、この協会の出納その他の事務について監査を実施した。

区 分	内 容	金額
補助金	兵庫県体育協会運営費補助等	224,381,000円
公の施設の管理	県立文化体育館等指定管理料	596,217,430円

(注) 地方自治法第244条の2第8項の規定に基づき、公の施設の指定管理者である当協会が施設の利用に係る料金を収入として取受し、管理経費に充当している。

2 監査の結果

(1) 平成18年度決算

正味財産増減計算書

区 分	科 目	金 額
一般正味財産 増減の部	経常収益 ㉑	4,607,693,317円
	経常費用 ㉒	4,593,744,280
	当期経常増減額 ㉓ (㉑-㉒)	13,949,037
	経常外費用 ㉔	838,443
	当期経常外増減額 ㉕ (㉔)	△838,443
	未払法人税等 ㉖	△10,916,500
	繰延税金資産 ㉗	71,751,692
	当期一般正味財産増減額 ㉘ (㉓+㉕+㉖+㉗)	73,945,786
	一般正味財産期首残高 ㉙	1,126,405,429
一般正味財産期末残高 ㉚ (㉘+㉙)	1,200,351,215	
指定正味財産 増減の部	指定正味財産期首残高 ㉛	528,229,000
	指定正味財産期末残高 ㉜ (㉛)	528,229,000
正味財産期末残高 ㉝ (㉚+㉜)	1,728,580,215	

(注) 経常収益に県補助金224,381,000円、県の公の施設の指定管理料567,826,822円(消費税及び地方消費税28,390,608円を除く。)及び利用料金234,229,638円(消費税及び地方消費税11,711,482円を除く。)を含む。

貸借対照表

資 産 の 部		負債及び正味財産の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流 動 資 産	1,091,339,038円	流 動 負 債	403,603,352円
固 定 資 産	1,283,656,560	固 定 負 債	242,812,031
		指 定 正 味 財 産	528,229,000
		一 般 正 味 財 産	1,200,351,215
		(うち当期一般正味財産増減額)	(73,945,786)
合 計	2,374,995,598	合 計	2,374,995,598

(注) 1 正味財産増減計算書及び貸借対照表とも一般会計、スポーツ少年団会計及び給食会計を合算したものである。

2 固定資産から控除した減価償却累計額等 329,141,886円

(2) 意 見

出納その他の事務は、おおむね適正に執行されているものと認められた。

財団法人 兵庫県警察互助会

1 監査の対象

兵庫県警察の運営に協力するとともに、兵庫県警察職員の福利増進等を図る事業を行い、もって警察活動の能率的な遂行に寄与し、県民の福祉の増進に資することを目的とするこの会の事業のうち、厚生に関する事業について、県が平成18年度において210,993,000円の補助金を交付しているため、これに係る出納その他の事務について監査を実施した。

2 監査の結果

(1) 平成18年度補助対象事業の決算

支 出		収 入	
科 目	金 額	科 目	金 額
給付事業費	42,311,800円	会費収入	213,242,250円
リフレッシュ事業費	328,824,309	補助金収入	210,993,000
単年度福利事業費	20,343,886	雑収入	714,425
管 理 費	303,067		
積立預金支出	10,000,000		
当期収支差額	23,166,613		
合 計	424,949,675	合 計	424,949,675

(注) 共済事業会計及び福利事業会計を合算したものである。

(2) 意 見

出納その他の事務は、おおむね適正に執行されているものと認められた。